

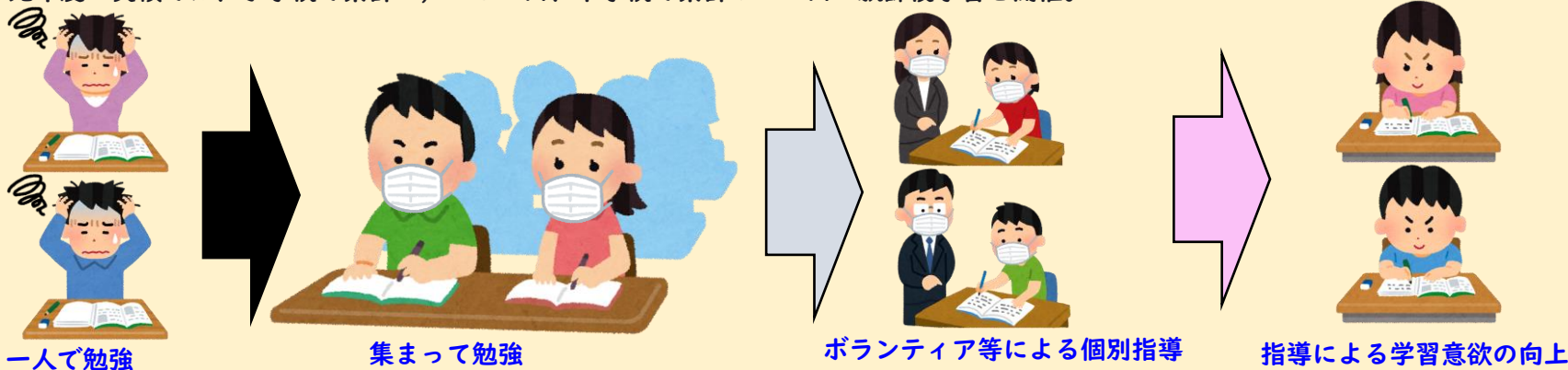
泉佐野まなびんぐサポート事業

①抱えていた課題

学力については、学校教育活動の一側面であり、個人差はあるものの、学習意欲の向上や学習習慣の定着、ひいては学力の向上については、市域全体としての課題として捉えている。（全国学力・学習状況調査等の分析結果による）

②課題に対する取組み

子どもの学びの状況に応じたきめ細かな指導や支援を行うことにより、子ども一人ひとりの学力や学習意欲の向上を図ることを目的とし、各学校の取組みに対し、人的支援を行っている。
具体的には、放課後の時間を利用し、学習支援ボランティア（退職教員、大学生、地域人材）を募り、子どもたちの学習支援を行っている。
令和元年度の実績では、小学校で累計2, 232回、中学校で累計344回の放課後学習を開催。



③目指している将来像

子どもたちの学習意欲の向上、学習習慣の定着、学力の向上。
未来の泉佐野、ひいては未来の日本を支える人材を育成する。

学習意欲
の向上

学習習慣
の定着

日本の
未来を支える
人材育成

④企業様に向けたメッセージ

学習指導要領では、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことが求められています。
各家庭だけでは対応できる範囲も限られる為、行政側でも、退職した教員や地域の方々、地元の大学生にも支援を仰ぎ、学校での放課後学習の機会を創出し、個別指導を実施しています。指導を受ける側はもちろん、指導をする側にとっても有益な機会となり相乗効果を生み出すことに繋がっています。未来の創り手となる子どもたちのために、本取組みにご賛同頂ける企業様からも是非お力添えをいただければ幸いです。